

# 「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 齊藤 隆

川に学ぶ体験活動協議会（略称RAC）は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成12年9月に設立され、平成29年2月現在95団体によって構成されています。

今回も直近の活動と今年度の取組予定についてご紹介します。

## 【第16回川に学ぶ体験活動全国大会 in 琵琶湖・淀川流域圏】

今回の全国大会は、RAC設立の契機となった平成11年の体験活動交流会が開催された近畿地域で、「新たなる河川文化の創造」をテーマとして開催し、地元の方や全国各地から約400名の方々が参加しました。

1日目の基調講演では、土木工学の立場から、長年淀川生態系の保全・復元に取り組まれてきた綾史郎教授より、活動のシンボルとなっている「イタセンパラ」の保全実践事例などをご講演頂きました。また、全国活動事例紹介では、多摩川を6年間を通じて学習する嶺町小学校の発表や、紫川を下流から上流まで10日かけて遡っていく取り組みのほか、淀川河川レンジャーの人づくりや竹じゃかご工法の実践など、活発な活動を共有しました。分科会では、5つのテーマに分かれ、それぞれがミニフォーラム的に実施し、初日の締めくくりとして「大会宣言」を公表しました。

2日目には、全国大会の大きな楽しみの一つとなっているエクスカッションへ、4府県の地元の川を愛する方に地元ならではのガイド頂き、歴史文化の色濃く残る琵琶湖・淀川を大いに満喫させて頂きました。

来年度の全国大会は、北九州市にて10月14日（土）・15日（日）に「熊本の復興支援」をテーマに開催の予定です。

## 【河川工事関係者向け安全講座の開催について】

RACでは数年前から球磨川の事業で河川工事関係者向けの講座を開催してきました。今年度は信濃川下流で11月に事業者向けの講習会を開催しました。寒い時期でもあったので、全員が川に入れないなどの制限がありましたが、特にスローロープ救助実習を行った方々は、その後直ぐにスローロープを購入するなどその実用性を体感した様子でした。併せて、災害時に役に立つEボート訓練も行いました。

河川関係の業務中にも、水辺には思わぬところに危険が潜んでいます。事故ゼロに向けて、新しい職員の入社に併せて、このような講座を定期的実施し、川の危険箇所の確認や装備、天候等に関する再確認を頂ければ幸いです。



## ◀ NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会 ▶

東京都北区田端1-11-1 勘五郎ビル104  
TEL.03-5832-9841 FAX.03-6893-2642  
<http://www.rac.gr.jp>

